

高知市子ども・子育て支援事業計画・重点施策の今後の取組方針に対する評価とご意見等（要約版）  
（高知市子ども・子育て支援会議委員による評価）

重点施策	評価 (平均)	主なご意見等
①健やかな子どもの誕生への支援	4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>核家族化が進み、また近所に支援してもらえない母親にとって産後の不安は大きく、特に初めての出産ではわからないことが多いので産後ケア事業の活用が望まれることから、産後も安心して子育てができる体制をつくっていただきたい。</li> <li>母子健康手帳交付時の面接は子育て支援の第一歩であり、重要視をして対応していただきたい。そして、出来れば十分な知識を持った専門職が全数実施に向け努力していただきたい。</li> </ul>
②より質の高い教育・保育の推進	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育・保育の質の向上のためには、保育者の研修は欠かすことができない。乳幼児期の教育のあり方でその後の成長や人生全体に大きな影響を与えることが分かってきているので、公立民間を問わず研修ができる体制づくりを整えていただきたい。</li> <li>保幼小教職員の連携については、実施率がこの5年間、90%程度で推移している。この1割の実施できていない園や学校、教職員が固定化していないかチェックをしながら固定化とならないよう取り組んでいただきたい。</li> </ul>
③地域ぐるみの見守り・子育て支援体制の充実	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用しやすい環境づくり、子育てに関する情報発信等しっかり定着してきたことを感じた。</li> <li>大人との温かい触れ合いや支えがあって乳幼児は成長していくので、ファミリーサポートセンター事業の充実が大事ではないかと思います。</li> <li>子育て家庭にとって地域子育て支援センターの存在は大きいと思います。親子の居場所としてどのような内容が求められているのか調査し、施設の整備にのぞんでいただきたい。</li> </ul>
④児童虐待の発生予防	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の方の中には意識はあっても講演会や研修には参加が難しいと思われれます。日々の生活の中で無理なくできそうなことが実現するしくみを地域の中でつくっていくことも必要ではないかと思われれます。</li> <li>児童虐待は今後ますます増加するものと考えられ、「予防する」を基本にしながら、今起きている虐待に対応する体制及び人材の育成に努力をお願いしたい。</li> </ul>
⑤障害児支援の充実	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害児支援について、家族で抱え込むケースも多いと思うが、障害者相談センターや障害福祉サービスのさらなる周知をお願いしたい。</li> <li>早くからの支援が子どもの可能性を上げたり、家族と良い距離が保てる場合も多い。支援が必要な児童や家族に寄り添った対応を今後もお願いしたい。</li> <li>就労支援の充実を図るために就労アセスメントの内容の充実や企業・団体との連携も必要ではないか。また、放課後デイサービスの一層の確保が必要と思われる。</li> </ul>